

平成30年度 法制対策部事業報告

1 活動方針

- (1) 会員相互の共通課題や現場での諸問題を明らかにし、その解決策を探るとともに、会員相互の連帯意識の高揚と組織の強化に努める。
- (2) 保護者や友好団体との交流を図るとともに、行政関係とも協力しつつ、開かれた支部活動を推進する。
- (3) 時宜を得た要望活動に努め、その達成を期する。

2 事業内容

月	日	事業名	事業内容
4		法制対策部会	○ 年間活動計画の検討（文書による確認）
5	14 17	局長部長会 県法制対策部会①	○ 事業計画、予算配分 ○ 県活動計画、事業計画、役員選出等
6	26 下旬	第1回法制対策部会 （情宣部と共催） 第1回職場集会	○ 県部長会の報告、活動計画 ○ 教育を語る会打ち合わせ（役割分担等） ○ H30年度の対県要望事項案の賛否について
7	31	市長と教育を語る会 （情宣部と共催）	○ 教育諸問題について 講師 八幡浜市長 大城一郎 氏
8	23	県法制対策部会②	○ 職場集会の要約
9	下旬	第2回職場集会	○ 対市要望事項についての意見交換
10	25	市へ要望提出	○ 庁舎にて対市要望（支部長、局長、部長）
12	12	教育懇談会	○ 対市要望に対する市教委からの回答
1	下旬	第3回職場集会	○ 次年度要望についての意見交換
2	7 下旬 21	支部職場代表者会 第2回法制対策部会 県法制対策部会③	○ 県及び市からの回答について説明等 ○ 今年度の反省（アンケートによる集約） ○ 今年度の反省と来年度の計画

3 今年度の反省と来年度への志向

(1) 職場集会について

ア 市や県に対する要望やその回答について詳しい資料がありよく分かった。徐々にではあるが、市や県も動いてきていると思う。今後は、より焦点化し、重要度の高いものから要望する必要がある。

イ 職場で話し合うための時間の確保が難しい。時間を確保して話し合うべきだが、時間を取ることができず、記述式で意見を集約する分会が多かった。

(2) 市長と教育を語る会

ア 「今年は西日本豪雨災害に対する市からの説明等もあり、市の考えや取組がよく分かった。教育の現場として、子ども・地域・学校が一体となって未来の八幡浜市を活気付けれたらと願っている。」など、貴重な時間となったという意見が多数聞かれた。

イ 三年サイクルで実施している夏の会だが、夏休み中ということもあり、いろいろな研修会等が重なる。参加者が増えるよう工夫していきたい。